



夢のかけ橋

高知県教育だより ～ 第8号 ～



平成22年（2010年）



年頭にあたって ～「挑戦と成果」を合言葉に～



みなさん、あけましておめでと
うございます。

20年4月に教育長に就任して
以来、学力や体力、不登校やいじ
め問題など本県が抱える教育課題
の指標を全国水準にまですること
を目標に「学力向上・いじめ問題
等対策計画」や「高知県教育振興
基本計画」を策定し、様々な取り
組みを進めてまいりました。

そうした中、昨年末に公表され
た21年度の全国体力テストにおいて
は、20年度の点数と比較して、い
ずれの学年においても全国トップ
の伸び率という結果が出ております
。学力テストにおいても、中学校
では、全国平均との差が徐々に縮
まっているなどの明るい兆しが見
え始めていますし、不登校や暴力
行為など生徒指導上の諸問題も改
善傾向が見られます。

このことは、子どもたちの頑張り
はもちろんのこと、市町村教育委
員会や各学校などの教職員のみな
さんが、地道に努力を重ねられた
ことの結果であり、大変うれしく
思いますとともに、みなさんの日
々の努力に感謝

申し上げます。

さて、このような中で、県教育委
員会では、「挑戦と成果」を合言葉
に、新しい年を迎えました。今年
は、計画に掲げた目標達成のため
にも、これまでの取り組みを加速
していかねばなりません。

なぜなら、依然として全体の結
果で見れば、全国水準と比べて
厳しい状況にあることは変わって
おりません。今までの努力を緩め
ることなく、また、改善の兆し
が見え出した今の状況を逃すこ
となく、これを活かして結果を出
していきべき年であります。

教職員のみなさんも、是非、こ
の新しい年の始めに1年の目標
を掲げ、その目標に向け「挑戦」
してください。その挑戦が実り
ある「成果」として実感できれば
、何物にも代えがたい達成感が
得られることと思っております
。それと同時に、教職員一人
ひとりの「挑戦と成果」の姿勢
は、子どもたちの成長にも大き
く影響を与えることと思いま
す。

私も「挑戦と成果」を常に心に
留め、頑張る教職員のみなさん
を応援してまいります。

高知県教育長 中澤 卓史

トピックス

◎高知県立図書館の「国民読書年」の取り組みについて

平成22年は、国会で「国民読書年」と定められました。
（国民読書年に関する決議 第169回国会 決議第2号
http://www.mojikatsuji.or.jp/link_5dokushonon2010.html）

「我が国においては近年、年齢や性別、職業等を越えて活字離れ、読書離れが進み、読解力や言語力の衰退が我が国の精神文明の変質と社会の劣化を誘引する大きな要因の一つとなりつつあることは否定できない。」（衆議院本会議での決議より）という認識のもとに、すべての人に読書の良さをひろめ、その環境整備や支援を行っていくことにはずみをつけることが期待されています。図書館は、もともと日常的にこのような業務を行っていますが、本年はより意識して事業を推進していきます。

読書環境の中核である図書館の整備は、高知県は非常に立ち遅れています。そのため、今年は、県内市町村立図書館・公民館図書室等への県立図書館からの大量・長期の貸出し、学校図書館等への団体貸出しを進めていきます。

次に、図書の展示をさらに充実させ、市町村立図書館・公民館図書室等への巡回展示をより進めます。また、「龍馬伝」に関係した展示、他の自治体の交換観光展示もさらに進めます。また、さまざまなテーマのブックリストの作成等もさらに進めます。

また、図書館で行う行事・研修のほか、放送大学の教養講座、NHK **こうち** 情報BOXでの図書紹介コーナー「のほほんBooks」などで図書を紹介していきます。さらに、図書館サービスそのものについても多くの方の理解を得るため、「高知市民の大学」で講座「読書と図書館のススメ」（2010年4月から7月まで毎週金曜日「かるぽーと」にて）をNPO高知こどもの図書館と共同企画しています。

学校の先生方に向けては、教育技術書を補正予算によりまとめて購入しました。ぜひ、ご活用ください。

高知県立図書館
(TEL) 088-872-6307

「教科研究センター」をご利用ください

教科研究センターは、教員の皆さんの自主的な授業研究・教科研究活動を支援する施設です。

現在、教育センター本館2階でオープンしています。2月にはさらに、東部センター（安芸総合庁舎2階）、中部センター（中部教育事務所2階）、西部センター（幡多総合庁舎3階）も開室します。ぜひ気軽に立ち寄り、ご活用くださいますようお願いいたします。

なお、教科研究センターに関する情報は、**教育センターホームページ**に随時アップします。ご確認ください。〈 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310308/> 〉



教育センターに教科研究センターオープン！ ぜひどうぞ



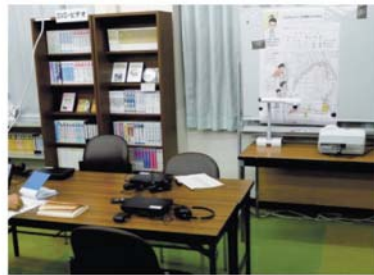
教育センター内の教科研究センターは12月から開設しています。これまで、研修で教育センターに来られた方、教育センターのホームページでお知りになった方などに、ご利用いただきました。

室内には、県内の先生方が作成された学習指導案、教育図書や月刊雑誌、小中学校の教科書、ビデオ・DVD、教材作成用の各種機器類を置いています。また指導アドバイザーが常駐し、授業づくり等に関する相談にも対応します。合言葉は、「子どもの笑顔が見たいから」。ぜひご利用ください。

〈 開室は平日 12:00~20:00、土曜 9:30~17:00 です。TEL/FAX 088-866-3903 〉



小学校外国語活動・若い先生方への推薦図書コーナー等、特設コーナーを設置しています。



教科の資料や実際の授業の映像があります。室内で視聴していただけます。



カラーコピー機・カラー拡大機・電子黒板等の機器類も充実。教材作成は**無料**です。



指導アドバイザー

「私たちに、ご相談ください！」

- ・東川美知子先生（小学校）
 - ・北紀男先生（小学校）
 - ・石丸雄三先生（中学校）
 - ・藤本次男先生（高等学校）
 - ・岡田哲夫先生（特別支援学校）
- ※各先生の勤務予定は、教育センターホームページに掲載します。



拡大機を使えば…

カラー拡大機は、威力抜群！幅約1m、長さは最大15mまで印刷可能。パソコンやスキャナーと連動させ、教科書も黒板サイズにできます。効果的に利用して、授業の幅を広げてください。

《 利用者の声より 》

- ◆とても充実する可能性を感じる。高知県の教育カアップの中核になるはずです。(高等学校教頭)
- ◆大学での模擬授業準備のために来ました。色々アドバイスをしてくださり、とても勉強になります。(大学生)
- ◆教科のクイズ・ゲーム集があれば、ありがたいです。(中学校講師)
- ◆センターと土佐研が連携して、県大会(時には全国)の資料を整理して保存していけるといいと思う。(小学校教諭)
- ◆図工活動の写真を拡大しました。大きさ、美しさに感動しました。(中学校教諭)
- ◆担当教科の資料収集でまた来させていただきたいです。(高等学校教諭)

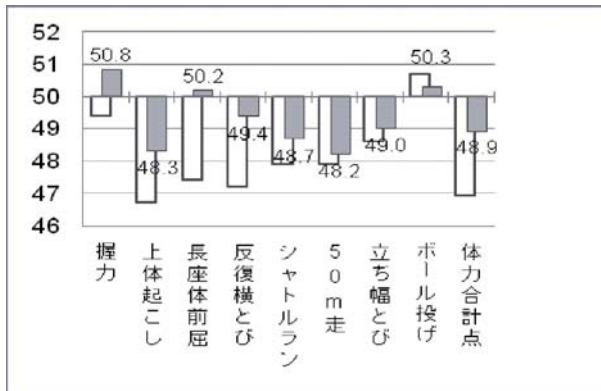
◎全国体カテスト大幅アップ！

平成21年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が公表されました。本県は、体力合計点で、小学校5年男子が全国40位、女子38位、中学校2年男子42位、女子40位と、昨年度の順位より上昇しました。さらに、平成20年度と比較した体力合計点の伸び率は、小・中学校男女とも全国トップとなっております。

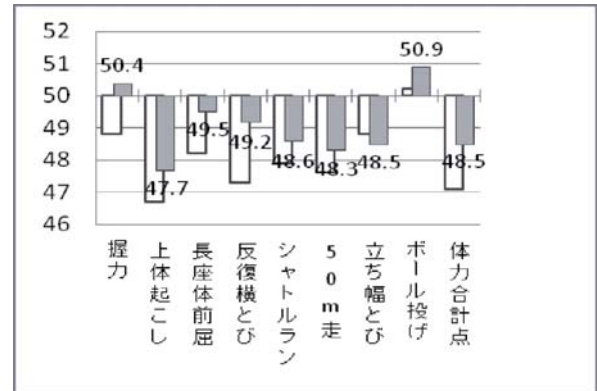
また、調査項目ごとに見てみますと、小中学校全体で7項目（前年度2項目）が全国平均値を上回っており、少しずつですが体力の上昇傾向が見られています。

【T得点：全国平均値を50として比較】（□平成20年度 ■平成21年度：数値は平成21年度）

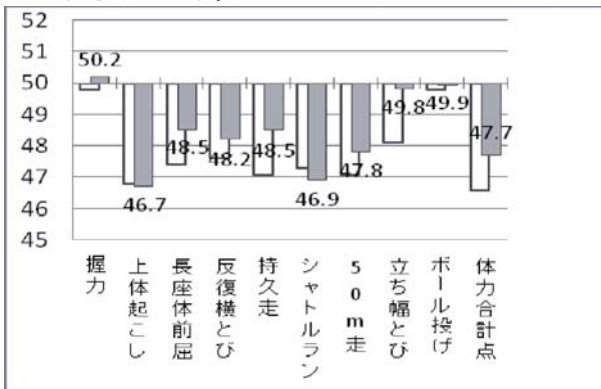
＜小学校5年男子＞



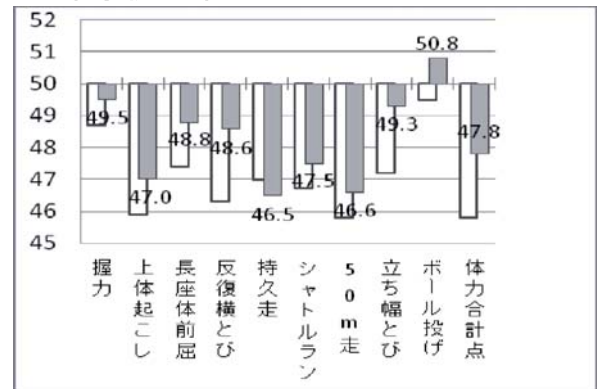
＜小学校5年女子＞



＜中学校2年男子＞



＜中学校2年女子＞



しかしながら、児童生徒の運動習慣等調査の結果からは、生活習慣、運動習慣等の変化はほとんど見られておりません。また、学校質問紙調査の結果からも、体力向上に向けた取組状況が、ほとんどの項目で全国平均値より下回っている結果となっております。本調査の目的は、教育委員会や各学校が体力向上に向け、それぞれの児童生徒の実態に応じたPDCAサイクルの確立を図ることです。

県教育委員会としましては、「高知県子どもの体力向上支援委員会」を立ち上げ、詳細な分析を基に、「うちの子ども体力アップアクションプラン」を中心とした施策を行っているところです。

市町村教育委員会及び各学校においても、それぞれのデータを詳細に分析し、課題を明確にすることが、児童生徒の体力向上につなげるための第一歩であると思います。まずは、小さな一歩をみんなで踏み出していきましょう！

スポーツ健康教育課 学校体育担当
(TEL) 088-821-4929

◎平成20年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果について

～暴力行為（小・中・高等学校）、いじめ（小・中・県立学校）～

平成20年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査において、すでに8月6日（木）に公表されている「小中学校の不登校、高等学校の長期欠席・中途退学」に引き続き、「小・中・高等学校の暴力行為、小・中・県立学校の内いじめ」について11月26日に国から公表されました。高知県における調査結果は次のようになっています。

《公立の小・中・高等学校における暴力行為の現状》

- 平成20年度の小・中・高における暴力行為の発生件数は607件（小：103件 中：427件 高：77件）となっており、平成19年度と比較して全体で111件の減少となっている。（平成19年度発生件数：718件）
また、校種別では、小学校でやや増加（93件→103件 10件増）し、中学校と高等学校で減少（中：506件→427件 79件の減、高：119件→77件 42件の減）している。
- 形態別の発生件数は、生徒間暴力（333件→316件）、器物損壊（252件→178件）、対教師暴力（100件→90件）、対人暴力（33件→23件）のすべての形態で減少している。
- 暴力行為が発生している要因・状況として、児童生徒のコミュニケーション能力の不足により人間関係がうまくできない、自分の感情を上手にコントロールできない等によって暴力行為に至っているケースが学校から挙げられている。

《公立の小・中・高・特別支援学校におけるいじめの現状》

- 平成20年度の小・中・県立学校におけるいじめの認知件数は199件（小：31件 中：126件 高：41件 特：1件）となっており、平成19年度と比較して全体で104件の減少となっている。（平成19年度認知件数：303件）
また、校種別の認知件数はほとんどの校種で減少しており、中でも小学校で大きく減少している。（小：96件→31件 中：162件→126件 高：44件→41件 特：1件→1件）
- いじめの態様別の件数は、「冷やか・からかい・嫌なことを言う」（123件）、「軽くぶつかる、遊ぶふりをして叩く、蹴る」（57件）、「仲間はずれや集団による無視」（43件）が上位になっている。
- いじめが発生する要因・状況として、子どもたちのコミュニケーション能力や人権意識の醸成が不十分、子ども同士の人間関係や力関係が固定化してしまう等の要因が学校等から挙げられている。

高知県の小・中・高等学校の暴力行為の発生件数は1,000人あたりで、19年度の9.3件から20年度は7.8件に減少し、全国ワースト2位から5位へ、いじめの認知件数は3.8件から2.6件に減少し、全国ワースト32位から33位となっています。先に発表しました平成20年度の不登校の数値とともに、いじめ、暴力行為に関しても一定の改善傾向にあると推測されます。その要因の一つとして、日頃の学校生活の中で、教職員が、子ども同士で起こる様々なトラブルを見逃すことなく、きめ細かな指導がなされていると思います。しかし、教職員の気がつかないところで、今もいじめが起きているとの認識に立ち、きめ細かな指導はもとより、日記指導、面談、アンケート調査等の実施など幅広い取組が、いじめ、暴力行為、不登校等が発生しないための対策と考えます。

教育委員会においても、児童生徒のみなさんが、充実した学校生活を送ることができるよう取り組みの支援を進めてまいります。
人権教育課 心の教育担当 (TEL)088-821-4909

お知らせ

◎行事予定（2月、3月の主なもの） <注>現時点での予定です。日程の都合により変更される場合があります。

平成22年2月

- 1日 都市教育長会（安芸市 ホテルタマイ 14時～）
- 5日 高知県文化財保護審議会（高知市 県民文化ホール4階第6多目的室 15時～）
- 6日 高知県小中学校全PTA連合会役員 教育行政研修会（高知市 教育センター分館 15時～）
- 10日 高知県安全安心まちづくり推進会議総会（高知市 高知会館 13時～）
- 12日 第3回人権教育推進協議会（高知市 教育センター分館 13時30分～）
- 13日 生涯スポーツ推進県民会議（高知市 県庁正庁ホール 13時～）
- 19日 第3回高知県高等学校教職対策連絡協議会（高知市 教育センター分館 10時～）
- 23日 高知県児童生徒表彰 表彰式（高知市 県民文化ホールグリーンホール 13時30分～）
- 24日 第2回全国生涯学習フォーラム高知大会実行委員会（高知市 高知新聞放送会館東館7階 高知文化ホール 14時～）
- 26日 公立学校共済組合高知支部運営審議会（高知市 高知会館 15時～）

平成22年3月

- 6日 大板高等学校閉校記念式典（香美市 大板高等学校 10時30分～）
- 18日 第4回人権推進委員会（高知市 県庁西庁舎教育委員室 10時～）
- 23日 定例教育委員会（高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時30分～）
- 30日 退職命令交付及び感謝状贈呈式（高知市 高知会館 14時30分～）

編集後記

「夢のかげ橋」第8号をお届けします。新しい年を迎えたばかりですが、年度末まであと少しです。「1月は行き、2月は逃げ、3月は去る」と言われます。1日1日を大切に、これまでの取組の点検をしながら、新しい年度の準備を始めたいと思います。

本広報紙への感想や、ご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

<発行者>

高知県教育委員会事務局

教育政策課



(TEL) 088-821-4731

(FAX) 088-821-4558

(E-mail) 310101@ken.pref.kochi.lg.jp